

中東地域情勢研究会 第17回研究会 を行いました

2024年4月10日

INPEX ソリューションズ(SLT)と東京大学先端科学技術研究センター(RCAST)、池内恵教授の研究室による中東地域情勢研究会では、3月19日に第17回研究会を行いました。今回は、RCAST に場所をお借りして、対面とオンラインとのハイブリッド開催とし、「ガザ紛争の短期的・長期的見通しと湾岸産油国の役割」とのテーマで議論をしました。

ガザ紛争の短期的・長期的見通しと湾岸産油国の役割

第17回 中東地域情勢研究会

池内恵

先端研グローバルセキュリティ・宗教分野教授
創発戦略研究オープンラボ (ROLES) 代表

2024/3/19 (火)

昨年10月7日のハマースによるイスラエルへの大規模奇襲攻撃で始まったイスラエル・ガザ紛争は半年を越えますが、収束の見通しは見えていません。今回の研究会では、ガザ紛争の今後について、この間池内先生が中東各国の政策担当者などと意見交換をした際の、彼らの見方などにも言及して、今後の見通しと各国の役割について、お話をいただきました。またその後は研究会参加者と、

パレスチナ・イスラエル、また中東と日本について議論をしています。



(株)INPEX ソリューションズでは、中東地域情勢研究会を通じて、今後も中東・ユーラシア地域の情勢を解説・発信していきます。

以上